



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 アツギ株式会社
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓
四半期報告書提出予定日 2023年8月4日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,791	7.5	430		128		149	
2023年3月期第1四半期	4,456	5.6	630		391		425	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 783百万円 (26.5%) 2023年3月期第1四半期 619百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.33	
2023年3月期第1四半期	26.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	40,777	31,715	77.8
2023年3月期	40,688	30,932	76.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 31,715百万円 2023年3月期 30,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	300		200		500		31.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	17,319,568 株	2023年3月期	17,319,568 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,296,634 株	2023年3月期	1,296,128 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	16,023,084 株	2023年3月期1Q	16,024,852 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引下げられるなど経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化などによる資源・エネルギー価格の上昇や外国為替相場における急激な円安進行等が景気の下押し圧力となるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、行動制限の緩和や、訪日外国人の増加によるインバウンド需要回復の兆候等による回復の兆しは見られるものの、依然として物価上昇による消費者の生活防衛意識や節約志向の高まりから衣料品への支出には慎重さが見られるなど、本格的な回復には至っておらず、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の『ATSUGI VISION 2024』では、主力領域であるストックキング市場の低位安定、ブランド力の脆弱化や顧客への訴求力不足等、当社における現状の課題を真摯に受け止めたうえで、課題解決に向けて、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を実行してまいります。あわせて、このような先行き不透明・不確実な状況の中、企業として今後進むべき方向性を明確にするため、当社がこれまで歩んできた道のりを振り返り、あらためて、自分たちの存在意義とこれから目指すべき姿を言語化することとし、パーパスを『肌と心がよるこぶ、今と未来へ。』、ビジョンを『肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。』に制定いたしました。パーパスおよびビジョンの実現に向けて、グループ一丸となってこの難局を乗り越えてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,791百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業損失は430百万円（前年同四半期は630百万円の損失）、経常損失は128百万円（前年同四半期は391百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は149百万円（前年同四半期は425百万円の損失）となりました。生産機能を中国工場へ集約し生産体制の最適化を図ったことなどにより、製造原価の低減効果があり、売上総利益は改善傾向にあります。売上回復には至らず、四半期純損失となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レグウェア分野は、物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりなど依然として厳しい環境が続いておりますが、行動制限の緩和などにより回復の兆しも見られ、ショートストックキングを中心とした春夏物商品が堅調に推移し、同分野の売上高は2,488百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

インナーウェア分野は、紳士肌着などが堅調に推移し、同分野の売上高は1,991百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は4,479百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業損失は537百万円（前年同四半期は726百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めており、当事業の売上高は139百万円（前年同四半期比6.8%増）、営業利益は102百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は堅調に推移いたしました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は172百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業利益は26百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は40,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは主に、売上債権の減少1,043百万円、現金及び預金の減少710百万円、棚卸資産の増加1,101百万円、投資有価証券の増加395百万円、流動資産のその他の増加312百万円等によるものであります。

負債の部は9,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ694百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他の減少567百万円、仕入債務の減少172百万円等によるものであります。

純資産の部は31,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ783百万円増加いたしました。これは主に四半期純損失149百万円の計上およびその他の包括利益累計額の増加932百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.8%（前連結会計年度末は76.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,787	4,077
受取手形及び売掛金	4,241	3,197
商品及び製品	4,179	5,012
仕掛品	1,029	1,204
原材料及び貯蔵品	635	729
その他	1,713	2,026
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	16,562	16,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,685	1,798
機械装置及び運搬具（純額）	1,817	1,926
土地	12,011	12,011
建設仮勘定	420	238
その他（純額）	86	86
有形固定資産合計	16,020	16,061
無形固定資産	1,338	1,366
投資その他の資産		
投資有価証券	6,621	7,016
繰延税金資産	0	—
その他	144	108
投資その他の資産合計	6,767	7,125
固定資産合計	24,126	24,552
資産合計	40,688	40,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	1,784
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	138	49
賞与引当金	43	22
その他	2,681	2,113
流動負債合計	5,291	4,439
固定負債		
長期借入金	909	791
繰延税金負債	1,052	1,376
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	967	917
その他	249	249
固定負債合計	4,465	4,622
負債合計	9,756	9,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△2,076	△2,225
自己株式	△1,466	△1,467
株主資本合計	26,728	26,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,839	2,159
繰延ヘッジ損益	411	834
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,563	1,753
その他の包括利益累計額合計	4,203	5,136
純資産合計	30,932	31,715
負債純資産合計	40,688	40,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,456	4,791
売上原価	3,289	3,357
売上総利益	1,166	1,434
販売費及び一般管理費	1,796	1,865
営業損失(△)	△630	△430
営業外収益		
受取利息及び配当金	108	99
為替差益	119	160
その他	18	50
営業外収益合計	246	311
営業外費用		
支払利息	2	6
租税公課	0	0
その他	3	1
営業外費用合計	6	9
経常損失(△)	△391	△128
特別利益		
固定資産売却益	8	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産除却損	5	1
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△388	△130
法人税、住民税及び事業税	6	5
法人税等調整額	31	13
法人税等合計	37	19
四半期純損失(△)	△425	△149
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△425	△149

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△425	△149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	319
繰延ヘッジ損益	468	423
為替換算調整勘定	396	190
その他の包括利益合計	1,044	932
四半期包括利益	619	783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619	783

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	2,433	—	2,433	—	2,433	—	2,433
インナーウェア	1,699	—	1,699	—	1,699	—	1,699
その他	—	0	0	192	192	—	192
顧客との契約から生じる収益	4,133	0	4,133	192	4,325	—	4,325
その他の収益	—	130	130	—	130	—	130
外部顧客への売上高	4,133	130	4,263	192	4,456	—	4,456
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,133	130	4,263	192	4,456	—	4,456
セグメント利益又は損失(△)	△726	92	△633	25	△608	△22	△630

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	2,488	—	2,488	—	2,488	—	2,488
インナーウェア	1,991	—	1,991	—	1,991	—	1,991
その他	—	—	—	172	172	—	172
顧客との契約から生じる収益	4,479	—	4,479	172	4,652	—	4,652
その他の収益	—	139	139	—	139	—	139
外部顧客への売上高	4,479	139	4,619	172	4,791	—	4,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	4,480	139	4,619	172	4,792	△0	4,791
セグメント利益又は損失(△)	△537	102	△434	26	△407	△23	△430

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券売却益)

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、2024年3月期第2四半期連結会計期間に投資有価証券売却益（特別利益）を計上いたします。

1. 投資有価証券売却益の発生期間

2023年7月

2. 投資有価証券売却の理由

コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直し、財務体質の強化及び資産の効率化を図るため。

3. 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却株式 当社保有の上場有価証券 1 銘柄
- (2) 投資有価証券売却益 232百万円